

研究発表会

2006 年度研究発表会を、下記の要領で開催致します。

研究発表会 1 日目 2006 年 9 月 2 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 10

第 1 会場 セッション 1 「自然環境」 座長：畠瀬 頼子

1	10:00~10:20	HSI モデルの簡略化による HEP を用いたミティゲーション評価 吉沢麻衣子 (日本ミクニヤ株式会社) 鈴木至郎 (株式会社山梨県環境科学検査センター)
2	10:20~10:40	日本における HEP の実施事例および HSI モデルの蓄積状況に関する研究 久喜伸晃 (株式会社建設技術研究所) 田中章 (武蔵工業大学)
3	10:40~11:00	ベッコウトンボの HSI モデル構築とその適用可能性 阿部茂晴、前田恭伸 (静岡大学大学院) 静岡県立磐田南高等学校生物部
	11:00~11:10	休憩
4	11:10~11:30	HSI モデルを用いた沿岸域生態系の環境影響評価 - 国内環境アセスメントへの HEP 適用ケーススタディ - 杉山智治、奥田耕司、来崎良輝、後藤伸一、佐藤光昭、八木勇次郎、吉沢清晴、矢代幸太郎 (社団法人日本環境アセスメント協会)
5	11:30~11:50	複数種の SI モデルを用いた環境評価に関する提案 伊東英幸 (日本大学) 藤原真也 (株式会社 CBM) 福田敦 (日本大学)
6	11:50~12:10	複数種を対象とした HEP による環境影響評価方法の研究 - 里山生態系を対象としたケーススタディ - 横田樹広、伴武彦、上杉章雄、栗原彰子、中野雅美、松岡明彦 (社団法人日本環境アセスメント協会)

第 2 会場 セッション 2 「情報・システム」 座長：青山 貞一

1	10:00~10:20	HEP で使用する数式の導出と利用法 青島正和 (大成建設株式会社)
2	10:20~10:40	クラスター分析による自動環境類型区分とそのエコアップへの利用 青島正和、藤原靖、大川原良次、屋脊下亮 (大成建設株式会社)
3	10:40~11:00	生物生息空間モデルによる樹林・水辺空間の生態的価値の評価 大井和之、大場崇臣、井上英彦、中嶋雅孝 (財団法人九州環境管理協会)
	11:00~11:10	休憩
4	11:10~11:30	「NACS-J 戦略的保全地域情報システム (SISPA)」の構築と活用 朱宮文晴 (財団法人日本自然保護協会) 古橋大地 (有限会社マップコンシェルジュ) 吉田正人 (江戸川大学)
5	11:30~11:50	1 arc second SRTM DEM による環境解析の可能性 沢野伸浩 (星稜女子短期大学)
6	11:50~12:10	土壌・生物インベントリー情報の環境アセスメントへの活用 大倉利明 (独立行政法人農業環境技術研究所) 浦郷昭子 (アイ・シー・ネット株式会社) 浜田竜之介 (東京農工大学)

第 3 会場 セッション 3 「国際」 座長：林 希一郎

1	10:00~10:20	韓国の事前環境側面検討制度に関する事例研究 羅勝元 (岡山理科大学大学院) 成炫賛 (京畿開発研究院) 宋栄一 (韓国環境政策評価研究院) 井上堅太郎、泉俊弘 (岡山理科大学) 待井健仁 (岡山理科大学大学院)
2	10:20~10:40	ロシア・サハリン 石油・天然ガス開発事業を事例にした環境アセスメントの課題 神崎尚美、村上正子 (国際環境 NGO FoE Japan)
3	10:40~11:00	ドイツにおける環境アセスメントの取り組み - ヘッセン州とバイエルン州の連邦道路事業に着目して 室田昌子 (武蔵工業大学)
	11:00~11:10	休憩
4	11:10~11:30	米国マティリハダム撤去における HEP 適用事例の分析 中屋紀子 (武蔵工業大学大学院) 田中章 (武蔵工業大学)
5	11:30~11:50	米国の環境アセスメントにおける代替案評価の予備的検討 - ニュージャージー州を事例として - 村山武彦 (早稲田大学)
6	11:50~12:10	国際協力銀行の戦略的環境アセスメント - 「環境社会配慮確認のための国際協力銀行ガイドライン」を中心に - 斐潤 (慶應義塾大学大学院)

*表中の、名前に が付いている方が発表者です。なお、研究発表会プログラムは、一部変更になる可能性があります。ご了承ください。

研究発表会 2 日目 2006 年 9 月 3 日 (日) 9:30~12:00

第 1 会場 セッション 4 「自然環境」 座長：矢持 進

1	9:30~9:50	干潟域における水鳥類の調査頻度と出現状況との関係 - 中城湾泡瀬地区公有水面埋立事業における事例 - 成瀬英治、阿野貴史、與那覇健次 (内閣府沖縄総合事務局)、高橋由浩 (前 財団法人港湾空間高度化環境研究センター)、青木博、細谷誠一 (いであ株式会社)
2	9:50~10:10	人工干潟における環境再生・創出技術について 市村康、小泉知義 (日本ミクニヤ株式会社)、木村賢史 (東海大学海洋学部海洋生物学科)、木幡邦男 (独立行政法人国立環境研究所)
3	10:10~10:30	急傾斜地崩壊対策工事が妙音沢の水生生物に与えた影響 太田尚行、飯山洋介、吉田正人 (江戸川大学)
	10:30~10:40	休憩
4	10:40~11:00	ミズバショウ湿地の水質調査による維持・管理の有効性評価 亀山敬子、伊藤勝 (江戸川大学)
5	11:00~11:20	湿地に生育する絶滅危惧植物の特性と保全方法検討のための実験 (ヒメハッカを例として) 坂坂亜希子、伴武彦 (株式会社ポリテック・エイディディ)
6	11:20~11:40	当間地域における大規模ビオトープ造成後の水生生物相の変遷と特徴区分の試み 菱川修一 (東電環境エンジニアリング株式会社)、荒川茂樹 (東京電力株式会社環境部)、北原宏一 (東電環境エンジニアリング株式会社)、櫻井良樹 (株式会社当間高原リゾート)、小堀達、島田久子 (三洋テクノマリン株式会社)
7	11:40~12:00	典型性注目種等の選定における客観性の確保に向けた試み (第二報) 香川裕之、高橋卓、西土井誠、平泉秀樹、松井宏之 (社団法人日本環境アセスメント協会)

第 2 会場 セッション 5 「制度・政策」 座長：柳 憲一郎

1	9:30~9:50	自治体における戦略的環境アセスメント導入の新たな動き 原科幸彦、杉本卓也、清水谷卓 (東京工業大学)
2	9:50~10:10	自治体アセスの方法書 (調査計画書) 手続きの有用性に関する研究 中林純、内原英理子 (株式会社日建設計)
3	10:10~10:30	環境影響評価条例における事後調査の制度および運用状況 細川岳洋、滝口善博 (アジア航測株式会社)
	10:30~10:40	休憩
4	10:40~11:00	環境影響評価書の貸出・複写・ホームページ全文公開に係る著作権の整理とその実施効果について 渡辺学 (北九州市環境局環境保全課)
5	11:00~11:20	我が国の環境アセスメントにおける複数案の比較検討の状況と課題 持木克之 (埼玉県)
6	11:20~11:40	地方条例の普及を前提とした新しい環境影響評価制度の構想 倉阪秀史 (千葉大学)
7	11:40~12:00	水産基盤整備が地域の漁業生産と自然環境に及ぼす影響についての政策評価 (伊勢湾の小型底曳網漁業を例として) 中村義治 (独立行政法人水産総合研究センター 水産工学研究所)、関根幹男 (株式会社フィスコ)、藤田弘一、丸山拓也 (三重県科学技術振興センター水産研究部)、船越茂雄 (愛知県水産試験場)、深町孝子 (株式会社フィスコ)、中西敬 (総合科学株式会社)

第 3 会場 セッション 6 「生活環境・景観」 座長：塩田 正純

1	9:30~9:50	高レベル放射性廃棄物地層処分事業の概要調査地区選定段階における環境配慮の一考察 高橋美昭、北山一美、竹内光男、稲継成文 (原子力発電環境整備機構)、嘉代東一、石橋陽一郎、石黒純一 (日本エヌ・ユー・エス株式会社)
2	9:50~10:10	ヒートアイランド現象の現状と環境アセスメントにおける熱環境評価に関する検討 升井幸男、泉伸司 (いであ株式会社)
3	10:10~10:30	漏洩高温加圧混合炭化水素のフラッシュ率及び気化ガス拡散の系統的推算法に関する一提案 伊藤勝 (江戸川大学)、積田雄一郎 (元 江戸川大学)
	10:30~10:40	休憩
4	10:40~11:00	山間地における大気拡散モデルによる現況再現性の比較検証 鷹取敦 (株式会社環境総合研究所)
5	11:00~11:20	電車内騒音の調査及び評価の方法論に関する一考察 吉田慎吾、伊藤勝 (江戸川大学)
6	11:20~11:40	感性工学手法による海岸景観評価について 市村康 (日本ミクニヤ株式会社)、松原雄平 (鳥取大学)